

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

津房地区まちづくり協議会だより

第28号 平成30年8月
発行：津房地区まちづくり協議会
事務局：津房地区公民館内
電話：48-2001

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

新嘗祭へ献穀されます！

☆ 津房産米・粟 ☆

新嘗祭（いなめさい）とは11月23日に行う宮中行事で、天皇陛下が神嘉殿において新穀を天地の神々にお供えし、その年の収穫を感謝し、農業の繁栄を祈願される祭事ですが、この祭事に使用する米、粟については全都道府県からの献穀に依ることとなっています。

大分県でも当献穀事業を毎年各市持ち回りで行ってきましたが、こしは宇佐市の当番で、市内の認定農業者団体を中心にして協議された結果、当地区の有力農業者であり、また、当まちづくり協議会・会長でもある菅原維範氏が献穀主として選ばれました。

（因みに、当事業は行政直轄ではなく、費用負担等を含めて献穀主が主催する制度です）

大分県代表として大任を果たせることはたいへん名誉なことであり、また、農業は地区の基幹産業であり、その発展は地区の将来に大きく関わるため、当協議会では、関連部会の役員を中心に、当事業へ積極的に参画していくこととし、去る6月20日開催の御田植え式の準備を手始めとして協賛しています。



津小高学年の可愛い早乙女さん



早乙女、来賓各位、献穀主
全員横一列で田植え

6月20日の御田植祭では宇佐市長、大分県北部振興局長、市議有志、認定農業者団体会長、農業委員会会長、JA北部事業部・統括部長などのほか、地区内の各団体の代表の来賓臨席のもと、神事に続いて古式に則りお田植えを行いました。

また、農業文化の学習と伝承の場として絶好の機会と捉え、津房小学校にも呼びかけ、可愛い早乙女として高学年生児童のご参加をいただきました。

尾立の献穀主ご自宅前の斎田では目下順調に稲と粟が生育中で、このまま行けば収穫の祭事（抜穂祭・ぬいぼさい）も無事迎えられそうです。

抜穂祭は10月12日（木）催行の予定ですが、減多に経験することのない祭事ゆえ、多くの方々のご見学をお待ちしています。

なお、抜穂式で収穫した穀物のうち、米1升と粟5合を、10月下旬に皇居で執り行われる献穀献納式に献穀主が直に持参して献納することで大任が終了します。



平成30年度
祝 献穀斎田 御田植式

＊ ＊ ふれあい大運動会 ＊ ＊

9月23日（日）8:30～

地区最大のイベントである「津房ふれあい大運動会」は

9月23日（日）の開催です

津房小学校・地区公民館の共催、当まちづくり協議会協賛のイベントで、全集落からの選手と応援者が青空の下に集い、次代を担う児童たちの競技や地区対抗戦を楽しみ、日ごろご無沙汰の知り合いと旧交を温める良い機会となります。

また、カーチャンの手作り弁当もよし、ちょっと豪華な仕出し弁当でもよし、初秋の青空のもとで車座になって楽しい昼食、英気を養うには絶好の場ともなります。

ご近所お誘い合わせ、特に、ふだん出かける機会の少ないご高齢の方へお声かけしてご参加頂ければ当イベントの意義が格段に向上します。

イベントの最後には恒例となっている楽しい“モチマキ”もやります！！

（有志の方から寄贈戴いた分を含め、2俵のモチ米で手作り）

＊ ＊ プログラムと出場選手は津房小学校と地区公民館から別途発行されるチラシをご参照ください ＊ ＊



みんなで楽しむ
モチマキ だっ！！

六郎丸交差点の改良工事完成

国道500号と県道659号との交差点（通称、六郎丸交差点）周辺は道幅が狭くて歩道もないことから、信号待ち車両や通学児童にとってはたいへんな交通の難所で、その改良が永年に亘る地区民の挙げての願いであったことから、津房小学校、P.T.A、地元自治会、区長会などが共同で請願書を幾度も出してきた経緯があります。

用地取得や予算の優先度などが絡む事案であったためか、なかなか実現出来ずに経過してきましたが、昨年度から漸く本格工事に着手いただき、この8月には見違えるような立派な交差点に生まれ変わりました。

通学児童や日常生活で良く利用する川西集落の方々の利便性、安全性の向上に飛躍的に寄与する事業であり、7月に竣工検査を終えた檜本橋の改良工事と併せ、わが津房の交通の難所2ヶ所が相次いで解消されたこと、地区民にとって大変な朗報です。

両事業に関連して立ち退きや用地提供でご協力頂いた方々、事業採択頂いた県土木事務所、工事作業中の事故もなく立派に仕上げてくれた施工業者の各位に紙上にて地区民の謝意を表したいと存じます。



見事に改良なった 檜本橋 と 六郎丸交差点